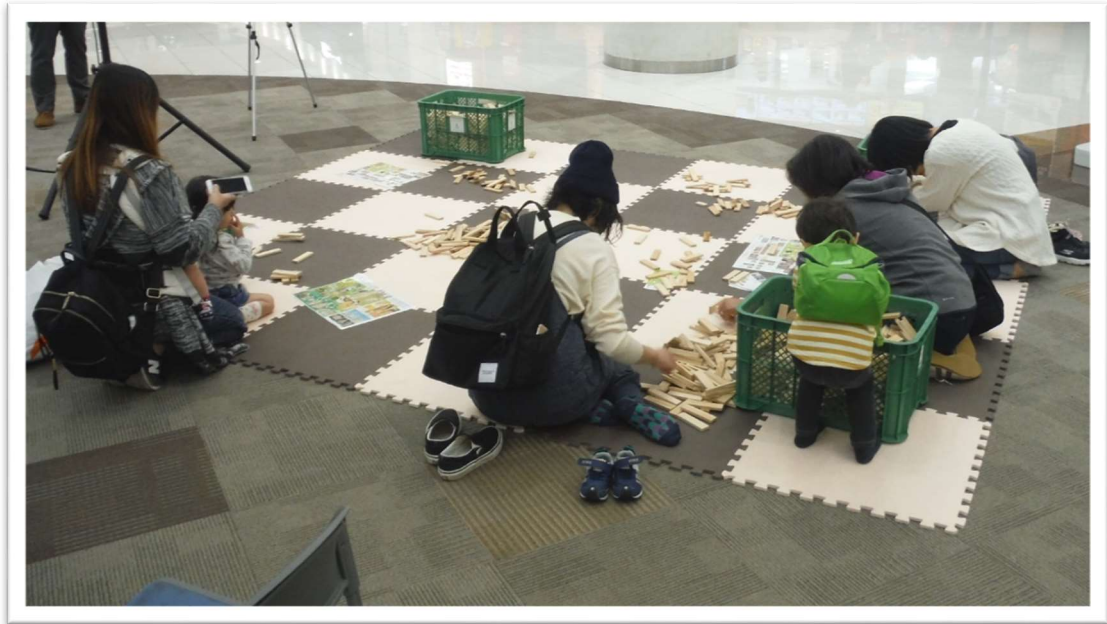


令和2年度

# 越谷市環境白書

越谷市環境管理計画年次報告書



イオンレイクタウン Act Green ECO WEEK 木育イベント

## はじめに

越谷市は、多くの河川や用水路が流れ、古くから自然に恵まれていたことから、「水郷こしがや」と呼ばれてきました。江戸時代には日光道中第三の宿場町としてにぎわいをみせ、今もその名残をとどめるなど、豊かな自然と歴史が融合したまちです。

この環境を未来に残すため、平成23年(2011年)12月に「越谷市環境管理計画」を改定し、本市の望ましい環境像を「未来へつなげよう、地球と人にやさしいまち こしがや」といたしました。現在、市では本計画に基づき、市民・事業者の皆様との協働により、環境像の実現に向け、生活環境、温暖化防止、資源循環、緑、生物多様性など多くの分野で取り組みを進めております。

さて、本年6月には、環境省により「気候危機宣言」がなされており、気温の上昇や災害の激甚化など、地球温暖化による影響は国内外において大きな問題となっています。

これまでの、二酸化炭素をはじめとする温室効果ガス削減の取り組みに加え、今後は、温暖化による影響に対する「適応」を進めることも重要となってきています。

現在、本市では「気候変動適応計画」の策定を進めており、来年度からの実施に向け様々な施策を検討しているところです。

この「越谷市環境白書」は、このような環境分野全般の取り組みについて、令和元年度の実績をまとめるとともに、越谷市環境管理計画の年次報告書として、本市の環境施策の進捗状況を掲載しております。

本書が、多くの皆様に広く活用され、身近な環境に対してさらに関心を深めていただくとともに、環境に配慮した行動を实践する一助となれば幸いです。

令和2年10月

越谷市長 高橋 努

